



「鋼橋の性能照査型維持管理とモニタリング」に関する講習会

橋梁の定期点検が義務化され、橋梁維持管理の水準は従前と比べて確実に向上しています。目視点検を通して間接的に性能照査をしているものとみなす基準文書もあるなど、維持管理の現状と整合性をとる一方で、性能照査型維持管理の概念も取り入れられ始めました。しかし、未だ目視点検やモニタリング、構造解析から性能に関する定量的な情報を得て、それらを鋼橋の維持管理に利活用する方法や体系は確立されていません。

海外では、定量化プロセスを通じて性能照査型維持管理を行う体系も整いつつあります。アメリカのAASHTOではLoad and Resistance Factor Ratingが採用され、活荷重や抵抗に関する現有性能を、モニタリング等を利用して定量的に扱うことができます。カナダでも同様のLoad Ratingが採用されており、そこでは点検やモニタリングの可否を目標信頼性に反映する仕組みも整えられています。

鋼橋の老齢化が急速に進行する状況を踏まえると、海外の状況を参考にしつつ性能照査型維持管理法の構築ならびにモニタリングの利活用法について早急に道筋をつける必要があります。そこで、主に国内外の文献調査を通じて検討し、鋼構造シリーズ 31「鋼橋の性能照査型維持管理とモニタリング」を取りまとめました。

本講習会ではこのテキストに基づいて、鋼橋等の性能照査型維持管理と性能評価の国内外の現状と課題、モニタリングに期待される内容を解説した上で、劣化損傷した橋梁の抵抗（残存耐力）を評価する方法や研究、活荷重を評価・モニタリングする手法について説明します。

性能照査型維持管理やモニタリング、抵抗や荷重評価についてこれから勉強したい方、理解を深めたい方など奮ってご参加ください。

行事コード 25907 略称：鋼橋のモニタリング

1. 主催：土木学会（担当：鋼構造委員会）
2. 日時・場所：
【東京会場】2019年9月25日（水）13：30－17：00（受付開始12：40～ 受付終了16：00）
土木学会 講堂（〒160-0004 東京都新宿区四谷一丁目外濠公園内）
3. 定員：100名程度
4. 参加費：正会員 8000 円、非会員 10000 円、学生 5000 円（テキスト代を含む）
5. 申込み締切日：2019年9月11日（水）（申込先着順で100名まで）
6. 申込方法：
学会誌綴込みもしくは土木学会ホームページ内
（<http://www.jsce.or.jp/event/active/form.pdf>）の「本部参加申込書」に所定の事項（特に行事コード番号）を明記のうえ、研究事業課行事担当宛にFAX（03-3355-5278）でお申し込み下さ

い. 申込到着後, 開催日 1 週間前までに折返し「参加券」をお送りいたします。

土木学会個人会員の方は土木学会ホームページ

(<http://www.jsce.or.jp/event/active/information.asp>) から申し込みが出来ます。

※申込みに関してのお願い

- (1) **参加費は原則事前振込とさせていただきます。** なお, 所属先の経理上の都合により事前振込が出来ない場合には通信欄にその旨お書き添え下さい。
- (2) 申込締切日前に定員に達している場合がございますのであらかじめご了承ください。なお, 締切日以降の事前受付はいたしません。ただし, 定員に余裕がある場合のみ, 行事当日に会場にて受付いたします。
- (3) お申込み後, やむを得ず**キャンセルされる場合は, 必ず開催日の 1 週間前まで**に下記の「問合せ」にご連絡ください。ご連絡がない場合は, 参加費を徴収させていただきますのであらかじめご了承ください。
- (4) 申込みをされる前に送金いただくことはトラブルの原因となりますので固くお断りいたします。

7. 問合せ先: 土木学会研究事業課 尾崎

TEL03-3355-3559 MAIL fumiharu-ozaki“at”jsce.or.jp (“at”を@に変更して下さい)

8. プログラム

13:30~13:35	開会あいさつ 鋼橋の性能照査型維持管理とモニタリングに関する調査研究小委員会委員長
13:35~14:35	鋼橋の性能照査型維持管理と性能評価について 水口知樹 (横河ブリッジ) 長山智則 (東京大学)
14:35~15:35	耐荷力の推定と性能照査型維持管理およびモニタリング 野阪克義 (立命館大学)
15:35~15:50	休憩
15:50~16:50	活荷重の推定と維持管理への適用 鈴木啓吾 (福井大学)
16:50~17:00	閉会あいさつ 鋼橋の性能照査型維持管理とモニタリングに関する調査研究小委員会幹事長